

科目番号	50003	分類		履修者	看護学研究科 (共通科目)	学年	
科目名	看護教育学特論 (Theory of Nursing Education)					1	
						配当比率	
						後期	
担当者	岩本郁子 他1名	区分	選択	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標					学位授与の方針との関連		
【概要】 看護の人材育成が質の高い看護の基礎をなすという観点から、教育的機能の基本を理解し、看護教育の歴史の変遷と看護教育制度、今後の看護教育の課題について考える。また、高度実践看護職としての役割を果たすために必要な教育原理と教育方法を学び、専門職者としての自己教育力、生涯教育力を具えた人材育成を目指す。					○	1. 患者・患者家族のニーズに自律的に対応できる実践能力	
【目標】 1. 看護教育における教育的機能を理解する。 2. 看護教育の歴史の変遷と看護教育制度から今後の看護教育の課題を考察する 3. 高度実践看護職としての役割を果たすために必要な教育原理と教育方法理解し、活用できる。						2. 患者の擁護者として活動できる倫理的意思決定能力	
						○	3. 看護・看護学の発展・進化に寄与し社会・時代のニーズに対応した創造的な研究・開発能力
						○	4. 多職種と連携・協働して行われるチーム医療の中で看護職としてのリーダーシップを発揮できる能力
授 業 計 画							
回	内 容					担当教員	
第1回	I. 看護教育における教育的機能					岩本 他1名	
第2回	II. 看護教育の歴史の変遷と看護教育制度						
第3回	III. 看護実践能力を育成するための看護基礎教育の課題						
第4回	IV. 高度実践看護職として役割を果たすために必要な教育原理と教育方法 1. 専門職における「教育・学習」の考え方 2. 教授—学習過程の成立 教材研究の重要性 3. 学習者の理解につながる教育技術 4. 経験を活かした教育方法 5. 教授—学習過程における評価						
第5回							
第6回							
第7回							
第8回							
第9～15回	V. 各自が選択した授業課題の指導計画・指導案を作成し、模擬授業を実施、評価し授業実施者としての課題を明確にする。 *ここでの授業とは講義、現場における指導 (OJT) をさす。						
事前・事後学習	事前学習：参考図書・配布資料(授業案を含む)で各回に該当する部分を読んでくる。 事後学習：配布資料について復習する。場合によってレポートを課す。 単位と時間数に応じた学習時間(学生便覧参照)を参考に組み合わせること。						
評価の方法	プレゼンテーション内容等(40%)、授業案・課題レポート(60%)にて総合的に評価する。 フィードバック(授業案・課題レポート、模擬授業実施の総評等)は適宜行う。						
参考図書・資料等	杉森みどりほか：看護教育学 第6版増補版 医学書院 2016. 参考書・資料は適宜に紹介する。						
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。						